



わが国における決済高度化を巡る議論

2014年10月9日

日本銀行決済機構局
小早川 周司

1. 新日銀ネット構築プロジェクト

新日銀ネットの開発コンセプト

(1) 最新の情報処理技術の採用

- 現行の日銀ネットのシステム基盤を抜本的に見直し、汎用性が高く、今後の発展が期待される最新の技術を採用することにより、情報技術の進歩を円滑に取り入れていくことを可能とする。

(2) 変化に対して柔軟性の高いシステムの構築

- 機能の統廃合およびプログラムの共通化などを通じ、複雑化した現行システムのスリム化を図り、今後の金融サービスの内容や様々なニーズの変化に柔軟に対応することを可能とする。

(3) アクセス利便性の向上

- 内外の決済システムや金融機関との接続性を改善するとともに、稼動時間の大幅な拡大が可能となるシステム基盤を整備することにより、アクセス利便性を向上させる。

<XML電文の採用、ISO20022対応、システム接続性の向上、稼動時間の大幅な拡大>

新日銀ネット構築プロジェクト

プロジェクトは、2段階で実施。

第1段階開発分：対象業務は、オペと国債の入札関連業務、国債系オペの受渡関連業務。

第2段階開発分：対象業務は、当座預金取引、国債決済、与信担保関連業務等。

▽ 新日銀ネットの開発スケジュール

段階	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
第1段階 ^(*)		システム開発	システム開発		2014年1月6日稼動開始		
第2段階 ^(**)			システム開発	システム開発			2015年10月13日稼動開始

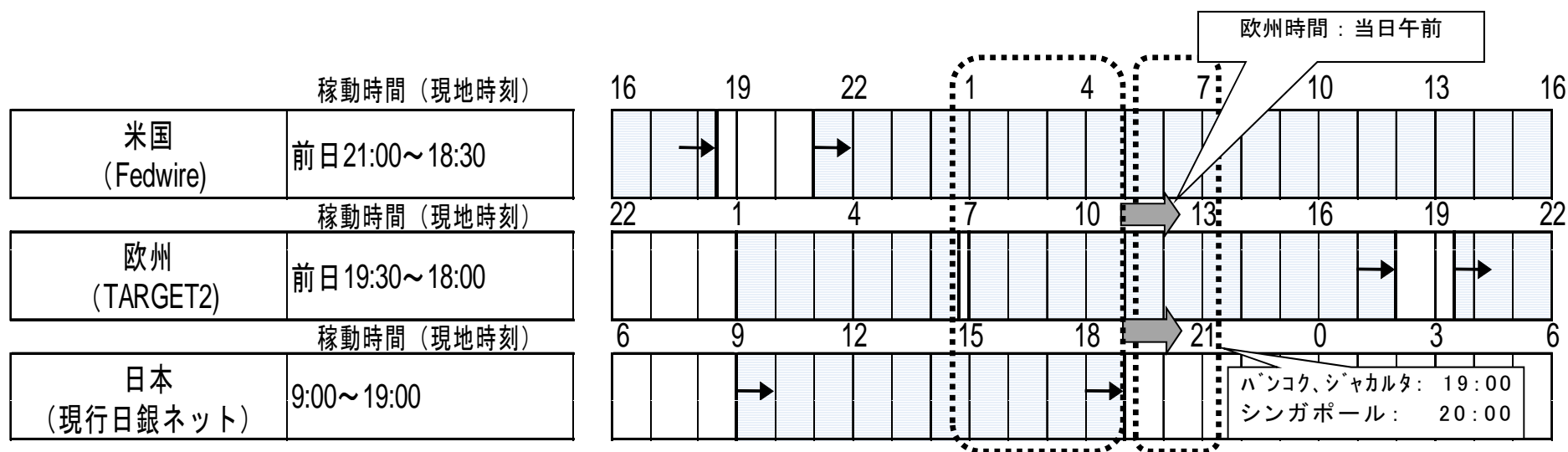
(*) 新発国債の発行や日銀の国債売買(オペ)に関する業務が対象。

(**) その他すべての業務が対象。

迅速で安全なクロスボーダー決済

稼動時間延長により、アジア時間（夕刻）や欧州時間（午前中）とのオーバーラップが拡大。

- アジア地域間での当日中の円建て顧客送金が可能に。
- 日本・欧州（午前中）間での当日中の円建て顧客送金が可能に（中央ヨーロッパ標準時13:00まで）。
- また、欧州での資金運用・調達、海外清算機関への担保差入をより迅速かつ安全に行うことが可能に。



2. リテール決済サービスの高度化

(1) 24/7サービス

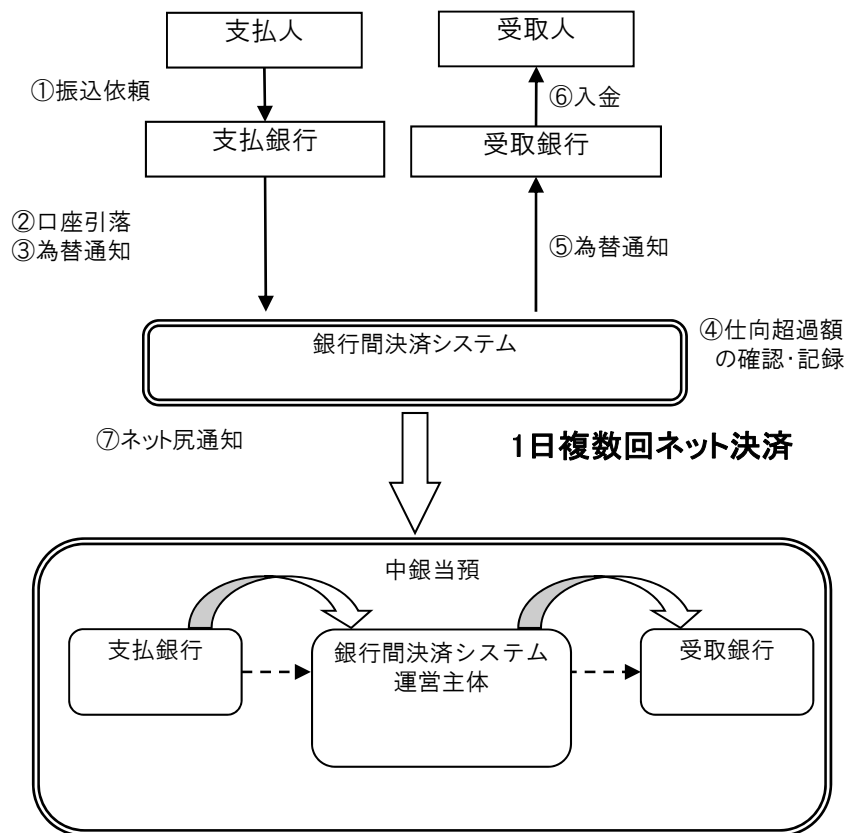
主要国における24/7サービスの概要

	英国	シンガポール	スウェーデン	オーストラリア	<参考> 日本
実現時期	2008年	2014年	2012年 (スマートフォンを利用した個人間の送金が対象)	2016年 (予定)	—
稼動時間	24時間・365日	24時間・365日	24時間・365日	24時間近く・365日	平日8:30～15:30
1件あたりの上限額	10万ポンド (約1500万円) 以下	1万シンガポールドル (約80万円) 以下	各銀行が個別に設定 (1万～15万クローナ<約15～230万円>)	小口(詳細未定)	1億円未満(1億円以上は、日銀ネット上でRTGS決済)
振込依頼～着金の時間	数秒～15秒程度	数分以内	数秒	「国際的なベストプラクティスの水準」 (検討中)	数秒～15分程度

英国における24時間リアルタイム決済サービス

Faster Payments Service

決済システム



(注) 為替通知発出後は取消不可
決済システムでは、フォーマットの適正性のみを確認

サービス内容

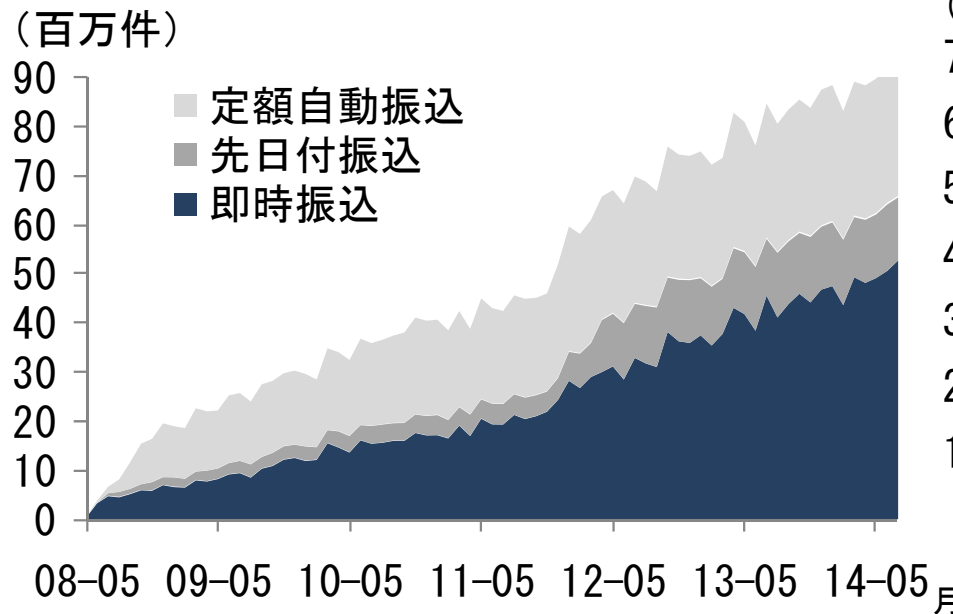
- サービス提供時間
週7日24時間
- 決済サービスの種類
ほぼリアルタイムでの入金または入金予告
 - ✓ Single Immediate Payments
 - ✓ Forward-Dated Payments
 - ✓ Standing Orders
 - ✓ Direct Corporate Access Payments
- 上限額
1件当たり10万ポンド

運営主体

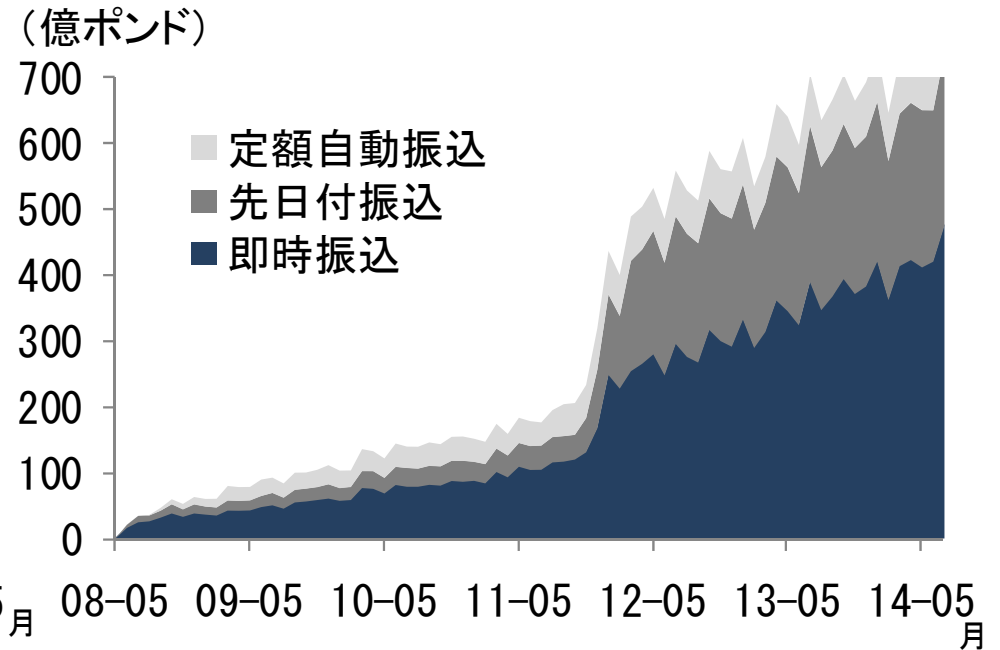
- 直接接続メンバー (Members)
大手10行
- 間接接続メンバー (Indirect Agencies)
約300先 (地方銀行、住宅金融組合等)

英国における24/7サービスの利用実績

取扱件数



取扱金額



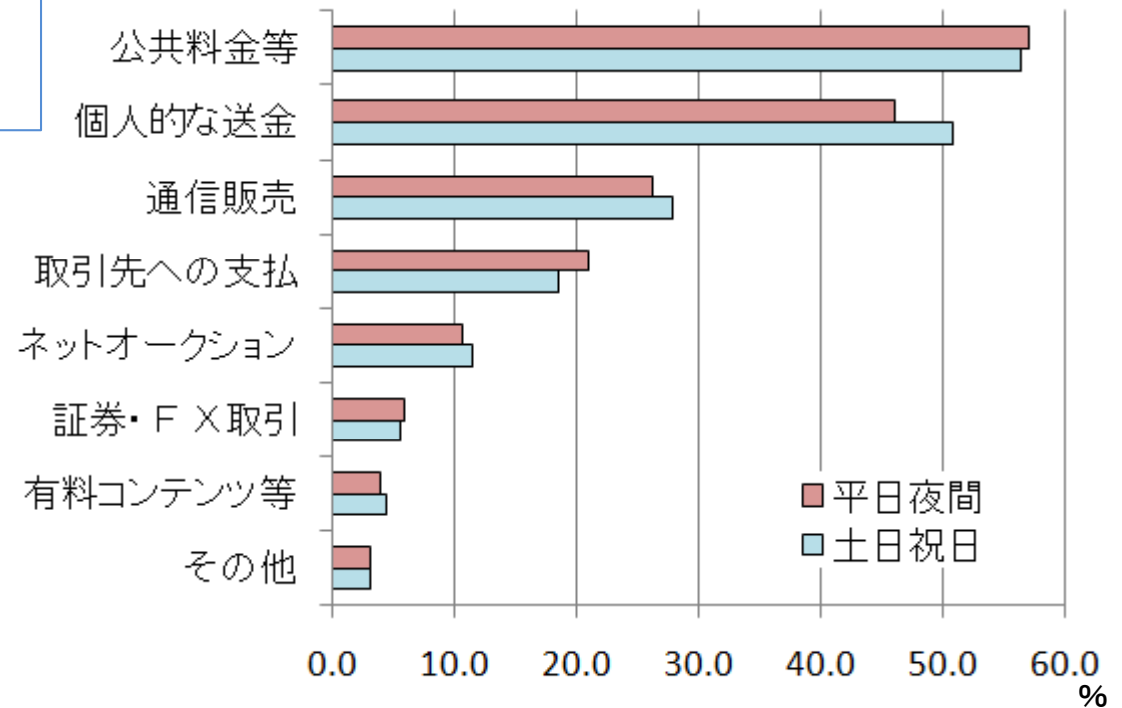
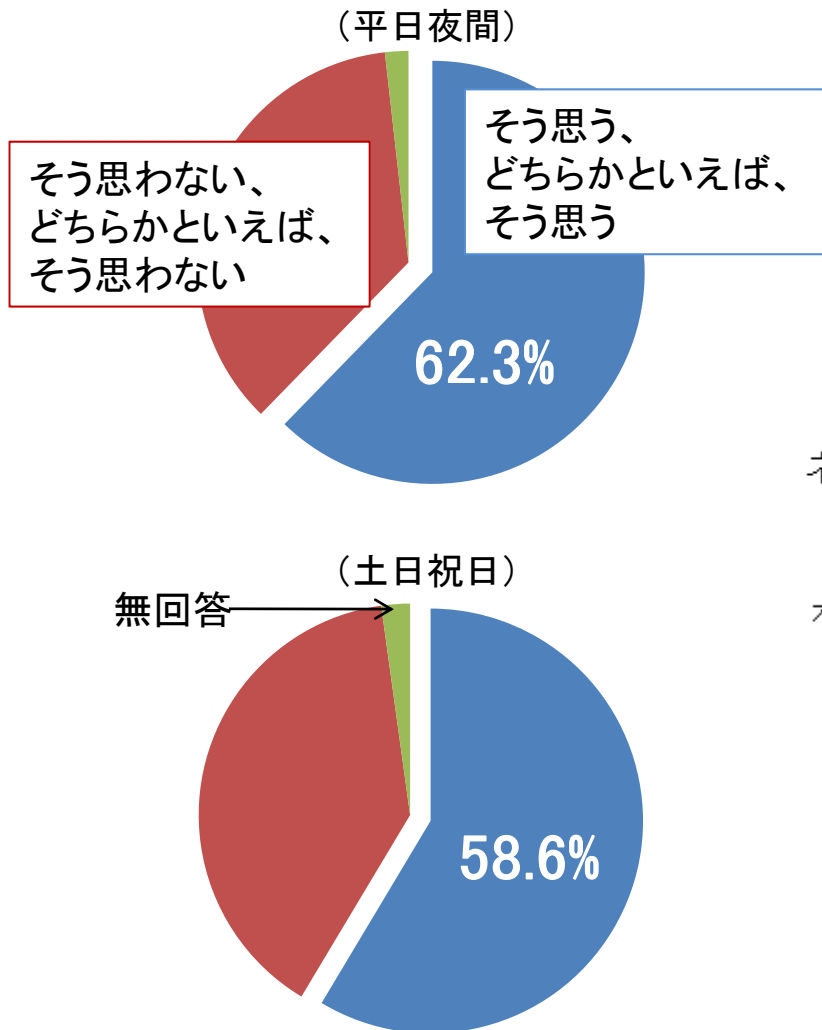
(注) 取扱件数・金額ともに、月次合計値。

(資料) Faster Payments Service

わが国における24/7サービスへのニーズ

平日夜間・土日祝日に、すぐに入金して欲しいと思うか？

平日夜間・土日祝日の振込目的

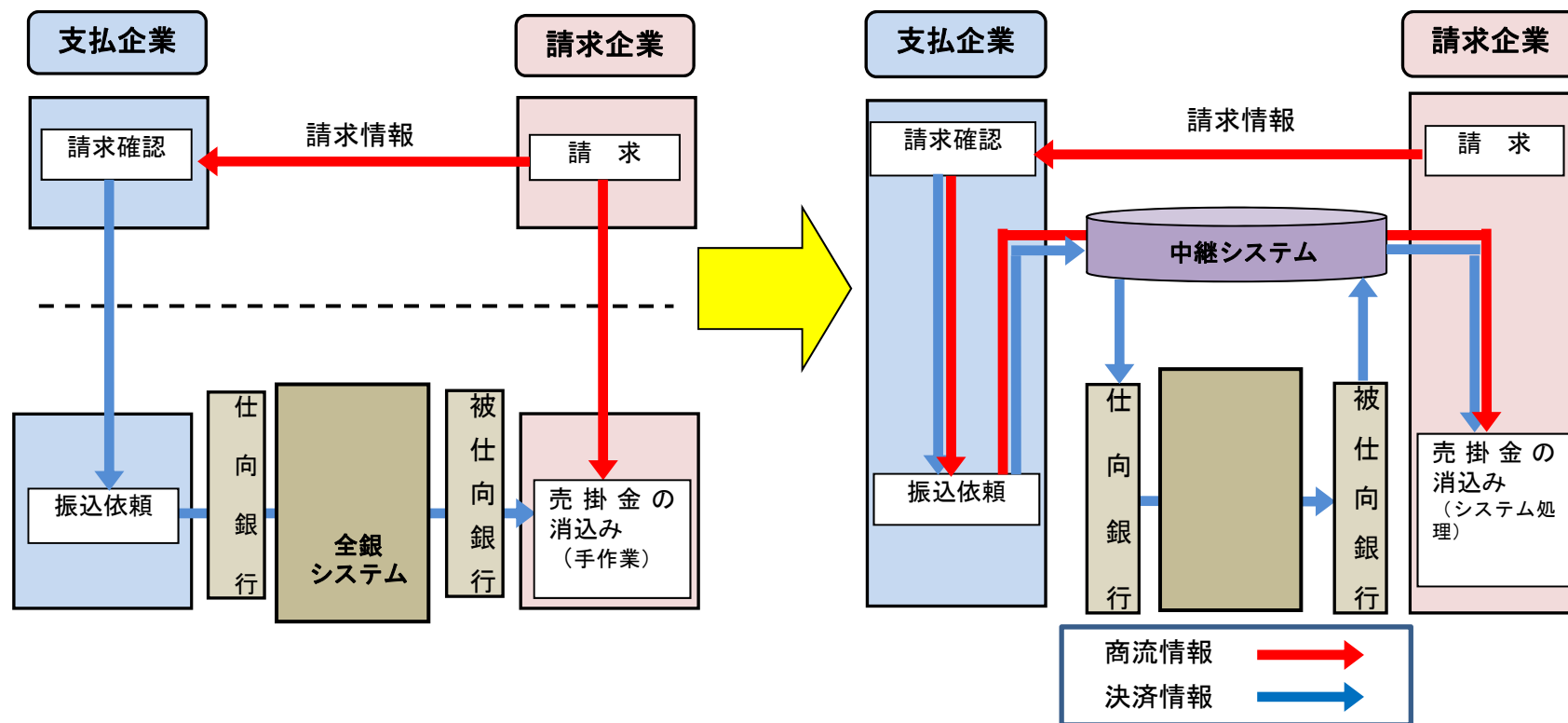


(資料) 日本銀行「生活意識に関するアンケート調査(第56回)」(2013年11~12月実施)

2. リテール決済サービスの高度化

(2) 金融EDIの活用

金融EDI



現状、決済情報の添付・拡張は、進んでいない。

(課題)

- 標準化の必要性、ネットワークの外部性、コスト・ベネフィットのバランス

全銀システムにおける従来の電文とXML電文の違い

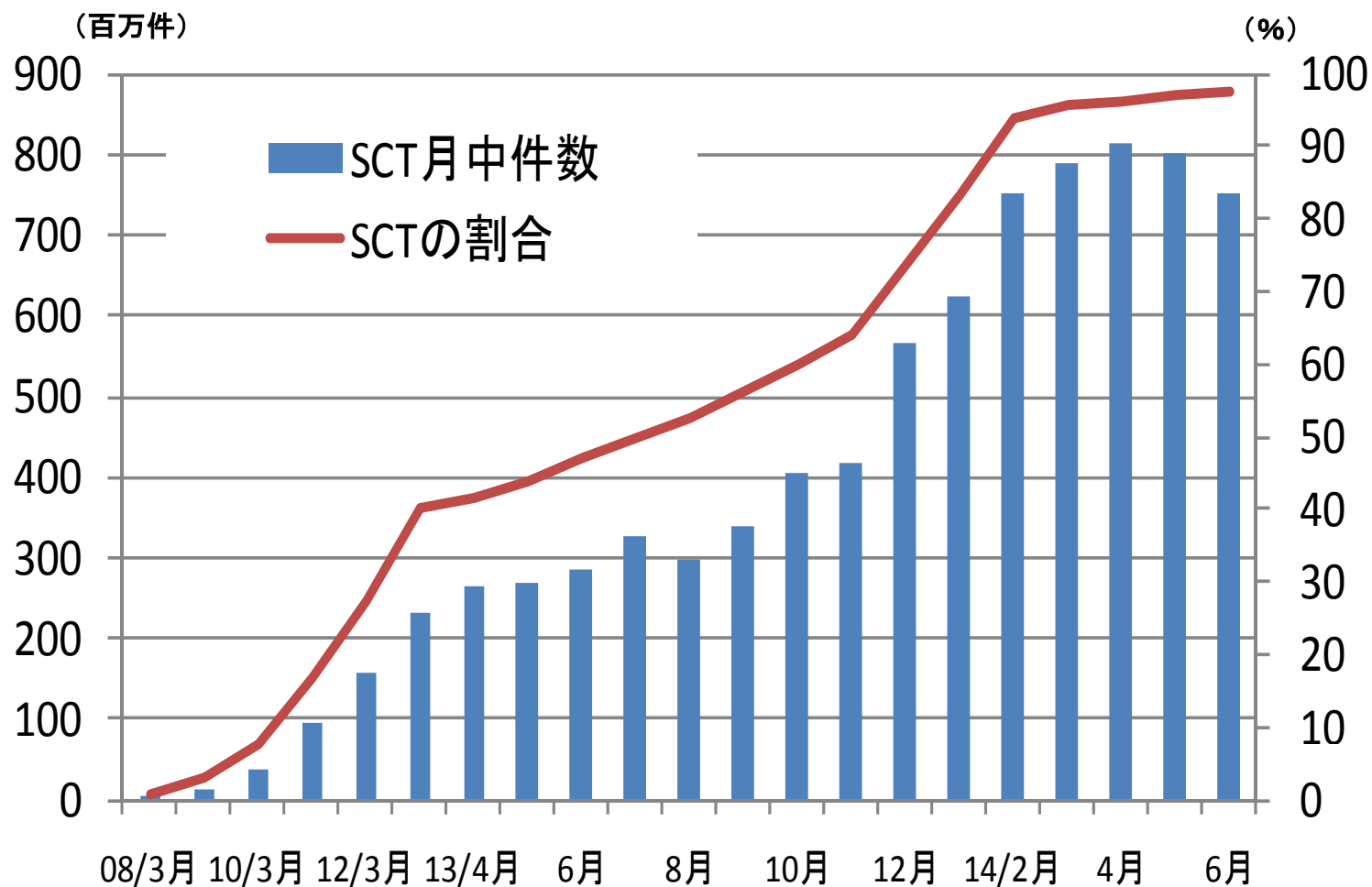
従来の電文（固定長フォーマット）の項目	XML電文（ISO20022 Pacs008）の項目	
取扱日	取扱日 <InterbankSettlementDate>	全銀システムでは、2011年11月の第6次全銀システムの稼働開始により、従来の固定長フォーマットに加え、XML電文の利用を可能化。
通信種目コード	通信種目コード <PaymentTypeInfoation>	
受信銀行名・店名	受信銀行名 <CreditorAgent> <FinancialInstitutionIdentification>	
	受信店名 <CreditorAgent> <BranchIdentification>	
金額	金額 <InterbankSettlementAmount>	
発信銀行・店名	発信銀行 <DebtorAgent> <FinancialInstitutionIdentification>	
	発信店名 <DebtorAgent> <BranchIdentification>	
銀行間手数料	銀行間手数料 <ChargesInformation>	
口座番号等	口座番号 <CreditorAccount> <Identification>	
	預金種目コード <CreditorAccount> <Type>	
EDI 情報	EDI 情報 <RemittanceInformation>	最大 20 桁
	EDI 情報（拡張） <RemittanceInformation>	最大 140 桁 さらに繰り返し利用が可能 （制限容量まで）
受取人名	受取人名 <Creditor>	
依頼人名	依頼人名 <Debtor>	

(出所)「企業決済高度化研究会」報告書

銀行振込に添付可能な情報量

	システム名	電文	付記情報欄の概要
米国	ACH	独自	約 800,000文字の明細データを添付可能。
欧州	銀行振込全般 (本年8月1日 ～)	ISO 20022(XML)	140文字。
英国	Faster Payments Service	ISO 8583(固定長)	140文字。現在、①ISO 20022を導入する可能性、②付記情報欄のあり方について検討中。
シンガポール	FAST	ISO 20022(XML)	140文字。
オーストラリア	New Payments Platform (2016年予定)	ISO 20022(XML)	相当量の明細データ(例: 280文字)の入力が可能になる予定。
<参考> 日本	全銀システム	全銀フォーマット または ISO 20022(XML)	20文字(全銀フォーマット)、140文字以上(ISO 20022)。

欧州SEPA (Single Euro Payments Area) の普及状況



(注) SCTとは、SEPA標準の銀行間振替 (SEPA Credit Transfer <SCT>) を指す。

(資料) European Central Bank